

# 輝く女性を応援します パートⅡ 建設女子はステキ女子★



十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員によるコーナーです

「ゆっパル」の由来  
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

皆さんは、**けんせつ小町**（建設業で活躍する女性技術者）・**ドボジョ**（土木女子）・**トラガール**（女性トラックドライバー）といった愛称をご存知ですか？  
今、建設業界では、単なる担い手確保という意味を超えて、産業全体の活力、魅力、創造力を向上させる女性技術者の雇用や女性が働く環境の改善などを進めています。“男社会”のイメージの強い建設業。市内の建設業で輝く女性たちをご紹介します。

## ◆◆ ゆっパル's インタビュー ◆◆

昨年10月、県は、建設業界で働く女性の職場環境づくりを支援しようと『女性技術者でつくるネットワーク会議』を設立しました。今回は、その会長でもある植村房恵さんが勤務する株式会社みどりを訪ねてお話を聞きました。

株式会社 **みどり** 代表取締役 岡田 寛紀

創業 昭和48年 所在地 相坂字高清水78-455(本社)  
事業 特定建設業・一般貨物自動車運送事業・産業廃棄物処分業(中間処理)  
社員 42人(うち女性7人)



インタビューに答えてくれた皆さん

- (上段左から)
- 総務課 荻沢美稀さん
  - 総務課 神山ますみさん
  - 運送課 柴田恵理子さん
  - 総務課主任 三浦小夜子さん
  - 土木二課長 栗山務さん
- (下段左から)
- 土木二課 植村房恵さん
  - 代表取締役 岡田寛紀さん
  - 大型ダンプドライバー 漆坂サユリさん
  - 総務課長 杉村かつ子さん

**Q** 建設業界を希望した理由を教えてください(以下敬称略)  
植村 昔からモノ作りが好きで、中学校の時にテレビ番組で青函トンネルができる特集を見てかっこいいなと思ったのがきっかけです。  
漆坂 小さい頃に、おじさんのダンプに乗せてもらって、大きな車に憧れていました。入社後、会社から助成をもらって大型免許を取りました。

**Q** 女性がこの仕事をする利点は？  
植村 おじさまたちがチャホヤしてくれませう。娘のように。(一同笑)  
あとは、男性が気付きにくい汚い部分が目につくところかな。  
杉村 漆坂さんは、普段から朗朗かに運送業務をしてくれて、運送業界のイメージを明るくする存在です。  
植村 配車係の柴田さんは、年上の運転手にも関係なくピリピリ指示を出しますが、運転手が生き生きとして、いいコミュニケーションをとっています。

**Q** 逆に、不便なことは？  
植村・漆坂 トイレです！  
漆坂 トイレには、まめに行くようにしています。まだ行きたくなくても事前に寄ったり、ルート上にトイレがあるかのチェックは欠かせないですね。  
植村 現場では、みんなが快適に使えるように、トイレは常にきれいに、環境整備を心掛けています。

**Q** 現場で一緒に働く男性の反応はいかがですか？  
栗山 今まで男しかいなかった現場に女性が入ると、明るくなりますね。とにかく明るい植村さんのキャラクターによる場所もありです。  
植村 重いものは持ってくれます。すごく気を遣ってくれてる…なんていうね？  
栗山 遣ってますよ。(笑)

**Q** けんせつ小町が増えるために必要なことは何でしょうか？  
植村 技術を学ぶ女子学生は増えて

### ◆◆ インタビューを終えて

けんせつ小町は、モノ作りが好き、大きな車を運転したいという、子ども頃の夢を叶えた純粋でまっすぐな女性たちでした。  
建設業の女性は道端にそっと咲く花のように周囲を明るくする存在。みどりの中で生き生きと咲く姿は、美しいと感じました。  
また今回は、女性特有の悩みを相談できる頼れる女性が上司にいることの心強さも感じました。相談できる相手がいることは働きやすい環境づくりの第一歩かもしれませんね。  
男社会のイメージだった建設業は大きく変わろうとしています。建設に女性の柔らかな力が交わることで、その手から造りだされる私たちのまちも大きく変わるでしょう。

### ホットな一句



未来図へ  
けんせつ小町  
燃え盛る

奈生美

るし、男性は男性のいいところがあります。それぞれが同じ仕事をする上で役割分担をしなければ相乗効果で会社も良くなると思います。

**Q** けんせつ小町を目指す女子学生へメッセージをお願いします  
植村 地図に載り、みんなが利用するものをつくる夢のある仕事です。やる気と長く続ける意思があるならぜひ飛び込んでみてください。

**Q** 働く環境はいかがですか？  
三浦 入社して2回出産して復帰しました。長く勤められる会社です。  
柴田 昨年3月に出産して復帰しました。大変なことは多いけど、上司が女性なので相談しやすいです。  
荻沢 休暇取得にも理解があります。  
神山 私は元トラガールでしたが、妊娠・出産を機に事務職に替えてもらいました。女性が働くことに理解がある会社だと思います。

**Q** 女性が社会でバリバリ仕事をすることにどう思いますか？  
杉村 「女性だから(できないのではないか)」という先入観は必要ない。我が社の社員を見ていて感じます。心強いですよ。

岡田 女性は女性のいいところがあ

## 「さんかく日和」その7

Akemi.N



★編集後記  
建設業と言えば、以前は男性の仕事のイメージでしたが、女性の社会進出に伴い、女性も力を発揮する場となりましたね。(K)  
自分が仕事をしていただけることは、自分ひとりの頑張りでは成りたちません。家族と職場のみんなに感謝です。(N)  
元気で働いている女性は、本当にイキイキして、楽しんで仕事をしていますね。(F)  
編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員 木村奈生美、中野渡明美、深谷淳子  
イラスト 中野渡明美  
発行 総務課広報男女参画係 ☎6702